

ジェイエース剤の 登録内容変更についてのお願い

●わが国において、原則として全ての農薬に、順次、急性暴露評価がされることとなり、ジェイエース剤（アセフェート剤）は登録縮小の申請をしました。

●急性暴露評価は、現在登録されている使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より多く摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

●このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録予定内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

ジェイエース粒剤

農薬登録の削除作物について

ジェイエース粒剤では、
下表①の農薬登録作物を削除する申請をしました。
下表①の作物ではジェイエース粒剤の使用をしないでください。

■表① ジェイエース粒剤（登録番号 第 20939 号）
平成 26 年 7 月 10 日 農薬登録申請内容（作物削除）

作物名	登録削除の内容
ミニトマト	作物を削除



農薬登録されている使用方法の変更作物について

キャベツ・はくさい・ブロッコリー・だいこん・かぶ・きゅうり・トマト・なす・みずな・ばれいしょ

ジェイエース粒剤では、下表②の農薬登録の変更の申請をしました。
今後は、下表②の使用方法のとおりジェイエース粒剤を使用してください。
但し、申請内容は今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。

■表② ジェイエース粒剤（登録番号 第 20939 号）平成 26 年 7 月 10 日 農薬登録申請内容（変更作物は網掛け部分、変更は赤字部分）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ	3～6kg/10a (1株当たり1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後は1回以内)
はくさい	アブラムシ類					
ブロッコリー	ヨトウムシ	6kg/10a(1株当たり2g)			株元散布	1回
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1回	は種前作条散布	1回
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 21 日前まで		株元散布	1回
なばな	アブラムシ類	6kg/10a(1株当たり2g)	定植時	1回	定植時土壌混和処理	1回
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類 アザミウマ類	3～6kg/10a (1株当たり1～2g)	定植時	1回	作条散布又は 植穴処理	1回
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ					
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類					
ごぼう	アブラムシ類	3～6kg/10a	収穫 75 日前まで	1回	株元散布	2回以内 (株元散布は1回以内、散布は1回以内)
みずな		6kg/10a	定植時		定植時作条散布後土壌混和	1回
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時	1回	作条散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)
こまつな	アブラムシ類	3～6kg/10a	は種前	1回	は種前作条散布後土壌混和 定植時作条散布後土壌混和	1回
チンゲンサイ			定植時			
たばこ	ヨトウムシ アブラムシ類		移植前		作条散布後土壌混和	2回以内
きく	アブラムシ類 アザミウマ類 マメハモグリバエ	6～9kg/10a				
ばら	アブラムシ類	1株当たり1～2g	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
トルコギキョウ	アザミウマ類					
ゆり	アブラムシ類					
りんどう	アザミウマ類					
つつじ類	ツツジゲンバイ					
芝	スジキリヨトウ シバツトガ	10kg/10a			全面散布	
	タマナヤガ	5～10kg/10a				

ジェイエース水溶剤

農薬登録の削除作物について

ジェイエース水溶剤では、

下表①の農薬登録作物を削除する申請をしました。

下表①の作物ではジェイエース水溶剤の使用をしないでください。

■ 表① ジェイエース水溶剤（登録番号 第20967号）
平成26年7月10日 農薬登録申請内容（作物削除）

作物名	登録削除の内容
かんきつ	作物を削除
トマト	
ミニトマト	
なす	
かぶ	
ブロッコリー	
だいこん	

農薬登録されている使用方法の変更作物について

かき・ぶどう・キャベツ・はくさい
レタス・チンゲンサイ・みずな
オクラ・ばれいしょ・茶

ジェイエース水溶剤では、

右表②の農薬登録の変更の申請をしました。

今後は、右表②の使用方法のとおりジェイエース水溶剤を使用してください。

但し、申請内容は今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。

■ 表② ジェイエース水溶剤（登録番号 第20967号）平成26年7月10日 農薬登録申請内容（変更作物は網掛け部分、変更は赤字部分）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
かき	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキノヘタムシガ	1500倍	200～700L/10a	収穫45日前まで	2回以内	散布	2回以内	
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～2000倍		収穫60日前まで	1回		1回	
いちじく	アザミウマ類	2000倍	200～700L/10a	収穫45日前まで	1回	散布	1回	
キャベツ	ハスモンヨトウ、アオムシ コナガ、ヨトウムシ アブラムシ類 タマナギンウワバ	1000～1500倍		収穫30日前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後は1回以内)	
はくさい	ハスモンヨトウ、アオムシ コナガ、ヨトウムシ アブラムシ類	1500倍	100～300L/10a					1回
レタス	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～1500倍 1000倍			3回以内			3回以内
非結球レタス	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～1500倍 1000倍	100～300L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内	
カリフラワー	ヨトウムシ	1000倍		収穫14日前まで				
チンゲンサイ	アブラムシ類	1500倍		収穫21日前まで	1回	散布	1回	
みずな	アブラムシ類	1500倍	100～300L/10a	収穫21日前まで	1回		1回	
オクラ	アブラムシ類 フタテンミドリヒメヨコバイ	1000倍		収穫開始7日前まで	1回		1回	
ほうれんそう	アブラムシ類			収穫30日前まで	1回	散布	1回	
にんにく	ネギコガ、アブラムシ類	1000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	2回以内		2回以内	
やまのいも	ジャガイモヒゲナガアブラムシ			収穫45日前まで	1回		1回	
ばれいしょ	ヨトウムシ オオニジュウヤホシテントウ	1000倍	100～300L/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、 植付後は2回以内)	
	アブラムシ類	1000～2000倍 300倍	25L/10a					
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000～1500倍	100～300L/10a	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内	
てんさい	ヨトウムシ	300倍	25L/10a	収穫45日前まで	3回以内		散布	4回以内 (育苗期の灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ	1000倍	100～300L/10a					
	テンサイトビハムシ	60～100倍	ペーパーポット1冊当り1L(3L/m ²)	育苗期	1回	灌注		
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～2000倍	200～400L/10a	摘採45日前まで	1回	散布	1回	
	チャノコカクモンハマキ	1000～1500倍						
だいず	アブラムシ類、ハスモンヨトウ	1000倍	100～300L/10a	収穫60日前まで	3回以内		3回以内	
ごぼう	アブラムシ類			収穫45日前まで	1回		2回以内(株元散布は1回以内、散布は1回以内)	
あずき	ノメイガ類、アブラムシ類			収穫14日前まで	3回以内		3回以内	
いんげんまめ	アブラムシ類							
たばこ	ヨトウムシ、タバコアオムシ アブラムシ類	1500～2500倍	25～180L/10a	収穫10日前まで	2回以内		2回以内	
つつじ類	ツツジゲンバイ	1500倍				発生初期	5回以内	
つばき類	チャドクガ	1500倍	200～700L/10a					
さくら	アメリカシロヒトリ	1500～2000倍						
	モンクロシャチホコ	1000～1500倍						
ばら	アブラムシ類	1000倍						
きく	ミカンキイロアザミウマ	1000倍	100～300L/10a			散布	5回以内	
	アブラムシ類、アザミウマ類	1000～1500倍						
グラジオラス	マメハモグリハエ オオタバコガ							
グラジオラス	グラジオラスアザミウマ							
ゆり	アブラムシ類	1000倍						
りんどう	アザミウマ類							
芝	スジキリヨトウ、シバツトガ		0.3L/m ²					
	タマナヤガ		0.3～0.5L/m ²					
	シバオサゾウムシ成虫		0.3～1L/m ²					

スミフェート粒剤の登録内容変更についてのお願い

わが国において、原則として全ての農薬に、順次、急性暴露評価がされることとなり、スミフェート剤（アセフェート剤）は登録縮小の申請をしました。

急性暴露評価は、現在登録されている使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より多く摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録予定内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

農薬登録の削除作物について

スミフェート粒剤では、
下表の農薬登録作物を削除する申請をしました。

下表の作物ではスミフェート粒剤の使用をしないでください。

表 スミフェート粒剤（登録番号 第 21904 号）
平成 26 年 7 月 10 日 農薬登録申請内容（作物削除）

作物名	登録削除の内容
ミニトマト	作物を削除

農薬登録されている使用方法の変更作物について

キャベツ・はくさい・ブロッコリー・だいこん・かぶ・きゅうり・トマト・なす・みずな・ばれいしょ

スミフェート粒剤では、下表②の農薬登録の変更の申請をしました。

今後は、下表②の使用方法のとおりスミフェート粒剤を使用してください。

但し、申請内容は今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。

■表② スミフェート粒剤（登録番号 第 21904 号）平成 26 年 7 月 10 日 農薬登録申請内容（変更作物は網掛け部分、変更は赤字部分）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ	3～6kg/10a (1株当たり1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後は1回以内)
はくさい	アブラムシ類	6kg/10a(1株当たり2g)			株元散布	
ブロッコリー	ヨトウムシ		3～4kg/10a	は種前	1回	は種前作条散布
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	4kg/10a				収穫 21 日前まで
かぶ	アブラムシ類		6kg/10a(1株当たり2g)	定植時	1回	
なばな	アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり1～2g)				定植時
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類 アザミウマ類		3～6kg/10a (1株当たり1～2g)	定植時	1回	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	6kg/10a				定植時
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類		3～6kg/10a	植付時	1回	
ごぼう	アブラムシ類	3～6kg/10a				収穫 75 日前まで
みずな	アブラムシ類		3～6kg/10a	定植時	1回	
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6kg/10a				定植時
こまつな	アブラムシ類		3～6kg/10a	は種前	1回	
チンゲンサイ	アブラムシ類	3～6kg/10a		定植時		
たばこ	ヨトウムシ アブラムシ類		6～9kg/10a	移植前	5回以内	作条散布後土壌混和
きく	アブラムシ類 アザミウマ類 マメハモグリバエ	1株当たり1～2g		発生初期		株元散布
ばら	アブラムシ類					
トルコギキョウ	アザミウマ類	1株当たり1～2g	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
ゆり	アブラムシ類					
りんどう	アザミウマ類	1株当たり2g	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
つつじ類	ツツジゲンバイ					
芝	スジキリヨトウ	10kg/10a	発生初期	5回以内	全面散布	5回以内
	シバツトガ タマナヤガ	5～10kg/10a				

スミフェート粒剤の登録内容変更についてのお願い

わが国において、原則として全ての農薬に、順次、急性暴露評価がされることとなり、スミフェート剤（アセフェート剤）は登録縮小の申請をしました。

急性暴露評価は、現在登録されている使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より多く摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録予定内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

農薬登録の削除作物について

スミフェート粒剤では、
下表の農薬登録作物を削除する申請をしました。
下表の作物ではスミフェート粒剤の使用をしないでください。

表 スミフェート粒剤（登録番号 第 21904 号）
平成 26 年 7 月 10 日 農薬登録申請内容（作物削除）

作物名	登録削除の内容
ミニトマト	作物を削除

農薬登録されている使用方法の変更作物について

キャベツ・はくさい・ブロッコリー・だいこん・かぶ・きゅうり・トマト・なす・みずな・ばれいしょ

スミフェート粒剤では、下表②の農薬登録の変更の申請をしました。
今後は、下表②の使用方法のとおりスミフェート粒剤を使用してください。
但し、申請内容は今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。

■表② スミフェート粒剤（登録番号 第 21904 号）平成 26 年 7 月 10 日 農薬登録申請内容（変更作物は網掛け部分、変更は赤字部分）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ	3～6kg/10a (1株当たり1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後は1回以内)
はくさい	アブラムシ類				株元散布	
ブロッコリー	ヨトウムシ	6kg/10a(1株当たり2g)				1回
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1回	は種前作条散布	1回
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 21 日前まで		株元散布	1回
なばな	アブラムシ類	6kg/10a(1株当たり2g)	定植時	1回	定植時土壌混和処理	1回
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類 アザミウマ類	3～6kg/10a (1株当たり1～2g)	定植時	1回	作条散布又は 植穴処理	1回
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ					
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類					
ごぼう	アブラムシ類	3～6kg/10a	収穫 75 日前まで	1回	株元散布	2回以内 (株元散布は1回以内、散布は1回以内)
みずな		6kg/10a	定植時	1回	定植時作条散布後土壌混和	1回
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時		作条散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)
こまつな チンゲンサイ	アブラムシ類	3～6kg/10a	は種前	1回	は種前作条散布後土壌混和	1回
たばこ	ヨトウムシ アブラムシ類		定植時		定植時作条散布後土壌混和	
きく	アブラムシ類 アザミウマ類 マメハモグリバエ		移植前		作条散布後土壌混和	
ばら	アブラムシ類	1株当たり1～2g	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
トルコギキョウ	アザミウマ類					
ゆり	アブラムシ類					
りんどう	アザミウマ類					
つつじ類	ツツジダンバイ	1株当たり2g				
芝	スジキリヨトウ	10kg/10a			全面散布	
	シバツトガ タマナヤガ	5～10kg/10a				